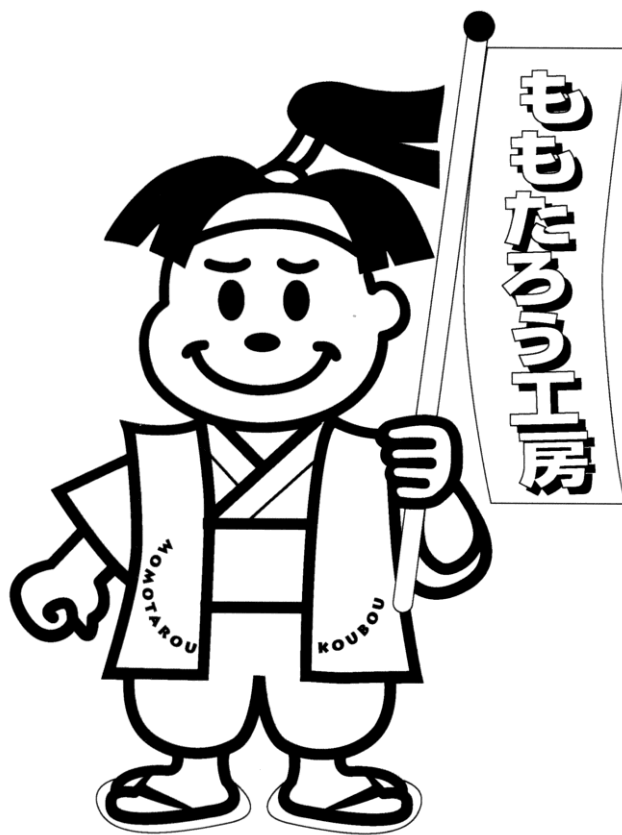


平成29年度

事業報告書



社会福祉法人

大洲育成園

目 次

事業報告	2
利用状況	4
サービス区分別概況	
施設入所支援	5
生活介護	6
就労支援 B 型	7
短期入所・日中一時	8
年間行事	9
地域活動支援センター	13
相談支援事業	16
苦情解決への取り組み	18
食事サービス	19
保健衛生	22
ボランティア受入	23
安全危機管理 災害対策	24
職員会・支援会議及び各種委員会	25
施設内職員研修	34

平成29年度 事業報告

施設長 東谷弘子

1. 事業環境

平成29年4月社会福祉法改正により定款変更、社会福祉法人大洲育成園は新しい経営組織となり、理事6名、監事2名の理事会は業務執行に関する意思決定機関として、評議員7名の評議員会は諮問機関から法人運営に係る重要事項の議決機関へとガバナンスの強化を図る体制へと変わった。

また、社会福祉法人による「地域における公益的な取組」は法人の責務として位置付けられ、これまで培ってきた福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域の関係者とのネットワーク等を活かしながら、「地域における公益的な取組」の実践を通じて、地域づくりと連携し、積極的に貢献していくことが課題です。

法人の税務調査が10月に松山税務署法人課税の国税調査官により実施され、几帳面な会計と税計算、牽制機能で問題のない評価があり、現状の会計処理を継続し信頼の向上を図ります。

12月には労働局から男女雇用機会均等法及びパートタイム労働法に基づく調査があり、臨時職員から正規職員への転換における条件に対しての指導により就業規則を改正しました。また、高齢者雇用については、継続雇用を採用している中、定年65歳引上げ等のアドバイスを受け、今後の検討課題となった。

2. サービスの充実と向上

愛媛県南予地方局による県指定の障害福祉サービスである就労継続支援B型事業においては実地指導、施設入所ならびに生活介護については書面監査があり、それぞれに指摘事項は改善を行い、指定基準に沿った取り組みとした。

愛媛県の助成金を受け、防災士による施設における防災実地指導も受けた。防災計画書の改正を行い、より利用者の安全を守り安心して暮らせる計画書になった。利用者の通院、送迎等における職員の安全運転や法令遵守の意識を高めるため、法人役職員全員の協力を得て運転記録証明書を取得した。その結果、大洲警察署より優秀安全運転事業所として銅賞の表彰を受けることが出来た。さらに安全運転、交通ルールの遵守に努めている。

利用者が笑顔で生活できる施設づくりのためには、まずは支援者である職員が心身ともに健康であること、職員が健康で働き続けることが出来る事業所を目指し、健康づくりに取り組む「健康づくり推進宣言」をし、その取組が認められ、日本健康会議より中小規模法人部門において「健康経営優良法人」の認定を受けることが出来た。

職員の健康こそが経営の基盤であり、ワークライフバランスの取組として、愛媛版イクボスである「ひめボス」を宣言し、有給休暇の積極的な取得や、育児・介護休暇取得を啓発して、働きやすき職場環境づくりに努めた。



3. 人材の確保（職員数 単位：名）

職種	施設長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	指導員	相談支援専門員	看護師	機能訓練指導員	管理栄養士	調理員	書記	計
平成 29 年 4 月 1 日現在	1	3	32	1	1	2	2	1	1	1	6	3	54
減員			2										2
増員			1								1		2
平成 30 年 3 月 31 日現在	1	3	31	1	1	2	2	1	1	1	7	3	54

退職者があり補充のため求人募集を行ったが、確保することが出来なかった。

職員の資質向上を図る社会福祉士の有資格者が 1 名増となり 2 名となった。

福祉介護職員処遇加算費と自己資金とで、福祉職員処遇改善手当を全職員に一時金として支給した。

4. 施設整備の保全

課題となっていた防犯体制について、防犯監視システムを導入して出入り口 3 カ所に防犯カメラを設置して整備し、非常時、特に夜間の通報等の対応がボタン一つで可能となった。また、初めての試みで警察署協力により防犯教育や防犯監視システムを利用した実践訓練を行った。これにより職員の防犯意識の向上につながり、利用者の安全な生活の強化を図ることが出来た。

より快適な生活を目指し、利用者の排便を促しトイレでの転倒防止のために排便補助具を各フロアトイレに取り付けた。その整備により、トイレでの転倒事故の件数が減少した。

利用者の生活で一番の楽しみである食事において、食事メニューを豊かにと管理栄養士等からの要望で調理器具「スチームコンベクションオーブン」を新しく整備した。新しいメニューで温かい「茶碗蒸し」などの提供に、また、調理員の負担軽減と業務の充実が図れ、利用者の食生活がより豊かなものになっている。



W2500XH1400 (1/2)

障害者支援施設大洲育成園

平成 30 年 3 月 31 日現在

1. 利用者状況（施設入所）

（1）年齢別・性別の状況 平均年齢 61.0 歳 最低齢 24 歳 最高齢 76 歳 65 歳以上 25 名

区分	20 歳以上～ 30 歳未満	30 歳以上～ 40 歳未満	40 歳以上～ 50 歳未満	50 歳以上～ 60 歳未満	60 歳以上～ 70 歳未満	70 歳以上	計
男	1	1	5	5	25	4	41
女	0	1	0	8	25	4	38
計	1	2	5	13	50	8	79

（2）入所期間の状況 平均 36 年

在籍年数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～	計
人 数	7	4	8	9	51	79

（3）行政機関

大洲市	八幡浜	宇和島	西予市	松山市	伊予市	内子町	伊方町	愛南町	松前町	計
26	9	8	9	6	1	11	4	3	2	79

2. 支援区分別利用実績

施設入所 退所者 4 名（死亡者 2 名、医療機関 2 名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/延数
2	57	62	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179
3	300	304	270	337	331	326	336	328	337	331	308	308	3,816
4	546	551	570	566	547	540	558	539	554	553	504	558	6,586
5	869	849	778	776	786	780	801	780	803	783	728	836	9,569
6	690	737	732	785	779	774	806	765	735	721	666	711	8,901
合計	2,462	2,503	2,410	2,464	2,443	2,420	2,501	2,412	2,429	2,388	2,206	2,413	29,051
在籍	83	83	83	83	82	81	81	81	81	80	80	79	

生活介護 開所日 365 日（1 日平均利用者数 61.75 名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/延数
3	90	91	90	93	89	88	93	90	92	88	84	93	1,081
4	337	341	330	319	307	300	310	300	308	310	280	310	3,752
5	809	787	718	714	723	720	737	720	741	721	672	742	8,804
6	690	737	732	785	779	774	806	765	735	720	666	711	8,900
合計	1,926	1,956	1870	1,911	1,898	1,882	1,946	1,875	1,876	1,839	1,702	1,856	22,537
実数	65	65	65	65	64	63	63	63	63	62	62	60	

就労継続支援B型 開所日365日(1日平均利用者数19.03名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/延数
2	57	62	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179
3	250	248	222	283	284	273	285	270	284	276	254	256	3,185
4	208	208	240	246	238	239	248	238	246	241	224	248	2,824
5	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
合計	575	580	582	591	584	572	595	568	592	579	534	597	6,949
実数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	

施設入所支援

主任指導員 池田 隆三

施設入所者(夜間)の睡眠、排せつ及び食事等の支援により個々に必要な生活習慣が確立され快適な生活が送れるよう、また社会生活への適応性が維持できるよう支援を行った。

施設入所者の解決すべき課題に合わせ、サービス管理責任者が個別支援計画を策定し、利用者・サービス管理責任者・看護師・栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い、利用者及び保護者の意向を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低下や入院等の状況の変化に対応し随時、モニタリングを行い個別支援計画の見直しを行った。

【総括】

食物を喉に詰め救急搬送後死亡する事故が2件発生したことで個別支援計画書に基づく適切な食事内容(刻み食等)や食事支援の在り方について再確認を行った。また、嚥下改善を目指して口腔体操を行い予防に努めた。

身体機能や筋力の低下に伴う転倒が増えていることから、要支援者への移動等には1対1の支援を心がけた。

また、事故防止への技術向上と意識改善の取り組みとして施設内研修を図り、研修実施から移乗及び移動用リフトの試用も行い、整備に向けて進めています。

入浴については、前年度から全利用者を対象に夜間入浴のリスク回避のため日中活動時に変更し継続して実施した。利用者からは、「時間的にもゆっくりした入浴ができる。」との声があった。



寝返りが十分にできない方や褥瘡発生に高いリスクのある方には、日中及び就床後の定時体位交換を実施して褥瘡予防に努めた。

高齢化に伴い、排せつに関する機能低下が顕著であるため、医師の指示による服薬や状況に応じたマッサージに水分補給などを支援し、排せつ状況の記録を継続した。

生活介護（定員 75 名）

サービス管理責任者 水本百合子・谷山洋二

活動班として、1F 男性フロア利用者のひまわり班・1F 女性フロア利用者のコスモス班・2F 男女フロア利用者のおはな班（生産活動班）の3班編成で活動を行った。

生産活動で作成した製品は、大洲市等の行政機関や地域の方々からの草花苗や木工加工品等の注文を受けて販売した。また施設内行事の「桃太郎工房祭り」「家庭の日」、地域行事の「柳沢のホテルまつり」「大洲幸楽園納涼祭」「体験フェスティバル in 交流の家」「福祉と健康づくり市民の集い」「肱北公民館ロビー展」等での草花販売活動を行い、地域の方々と交流を図った。

委託作業の箸選別作業では参加希望者を募り、ひまわり班からの利用者参加を含め、年間を通して不良品の選別を行った。

2017 愛顔つなぐえひめ国体への協力活動として、大洲市内の競技会場へ飾る「花いっぱい運動」に参加した。

大会当日には利用者が育てた「おもてなしの心」で会場を彩った。

生産活動で得た収入は、必要経費を差し引き工賃として利用者へ支払しました。



< ひまわり班・コスモス班・おはな班 >

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

【利用者数】

	男性	女性	備考
ひまわり班	17 名	—	8 月に 1 名が退所
コスモス班	—	18 名	
おはな班	15 名	11 名	7 月に男性 1 名が退所 12 月に女性 1 名が退所 2 月に女性 1 名が退所

【支援員】

	ひまわり班	コスモス班	おはな班
男性	6名	—	6名
女性	—	6名	5名

【総括】

利用者の高齢化が進み利用者のニーズも多種多様に変化が見られる。利用者のニーズを的確に把握し1人1人に合ったサービスの提供を心掛け、利用者の意思及び人格を尊重し、計画に基づいた支援を実施した。機能訓練や運動への取り組みに重点を置き、現在取り組んでいるスマイル体操や口腔体操などを継続し、安全、安心な生活が送れるよう支援した。また、入浴は、日曜のみ利用者全員の入浴を実施していたが、利用者の体力及び機能低下に伴い特殊浴槽の利用が増え、介助度が徐々に上がってきたため、男女が隔日で入浴するように変更して時間にゆとりを持って入浴が行えるようにした。

就労継続支援B型

サービス管理責任者 祖母谷洋子

【活動内容】

就労に必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、事業計画に沿ってサービスを提供した。また、スポーツ大会や地域行事、製品販売や納品等の参加により、地域との交流を図り障がい者への理解を深めた。通所者2人を含め20名で月曜日から金曜日に営業し、行事や各種イベントには土日曜日、祝日にも営業し即売を行った。

作業（パン、クッキー、クラッカー作業、外部作業）収益から毎月工賃を利用者へ支払い、更に年度末締めで支払った工賃や材料費等の経費を差し引いた収益残については一時金として各利用者へ均等に支払った。



施設外支援については、市内飲食店へ男性利用者1名が継続して勤めている。

個別支援計画については、6カ月毎に見直しを実施し、施設外支援においては1週間毎に見直しを行い知識、職場定着、就労意識の向上等を支援した。

【利用者数】	20名（男性10名・女性10名）												
【担当職員】	5名	職業指導員	…	森康子	工賃達成指導員	…	西野克美	生活支援員	…	二宮弘光、大森小織	サービス管理責任者	…	祖母谷洋子

<p>【利用者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による社会性と就労意欲の向上について支援する。 食品衛生及び感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施。また、感染症予防対策園内研修にも参加し食品製造前の手洗いは確認支援を続け、エプロン、帽子の洗濯や環境整備に注意した。 食品衛生管理上食品製造者全員の検便を年3回（7月、11月、3月）実施する。 <p>【実行と反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南予地方局の現地指導による指摘事項から、就労棟からの出火を想定した避難訓練を3月に実施した。 外部からのパン注文は出来るだけ対応して納品を行った。 干支製造販売に関しては、クラッカー作業(委託)のスケジュールの関係や干支製造作業での利用者の関わりが薄い事や在庫が多かった等の課題があり製造を中止し、その分パンやクッキーの販売先を拡大して定期的に予約をとって対応した。 就労棟（パン、クッキー工房、多目的室兼食堂、トイレ等）の消毒、清掃は月曜日から金曜日に利用者の出勤前に行い感染予防、衛生管理に努めた。 施設外支援では、新店舗オープンに伴い場所の移動があったが、作業場所が他の従業員と一緒に仕事出来る場所になり、野菜の下ごしらえや掃除を中心に元気に勤めた。昨年に続いて従業員増に伴い仕事量が減り帰園時間が早くなっている。 													
【販売先】	市内小中学校(教員)、近隣施設、JA関連事業所、市内商店、地域各個人 園内行事及び市内各種イベント、職員、利用者他												

短期入所・日中一時

短期入所 支援区分別利用状況 (単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
2	11	19	14	18	12	14	14	14	8	14	14	11	163
3	16	15	13	12	13	14	14	17	10	17	20	14	175
4	40	10	0	4	0	14	15	15	16	14	16	21	165
5	43	37	35	38	36	36	25	22	12	21	19	23	347
6	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	6
計	110	81	62	74	61	78	72	68	46	66	69	69	856
	110	81	62	74	61	78	72	68	46	66	69	69	856

- ・5名の利用者が定期的に利用し、他の利用者においては、家庭での事情（入院、旅行、冠婚葬祭等）やスポーツ大会参加の目的で利用した。
- ・日中活動は、主におはな班の活動に参加し、2名の利用者は他の事業の「夢たまご」や「大洲育成園就労継続支援B型」を利用した。

日中一時 支援区分別利用状況 (単位：名)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
3	児	0	0	0	6	14	0	0	3	1	0	0	0	24
	者	3	4	1	2	1	0	1	4	0	0	0	0	16
4	者	1	1	4	4	2	7	3	0	2	3	0	4	31
5	者	0	4	1	3	2	1	1	1	0	2	3	1	19
6	者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	児	0	0	0	6	14	0	0	3	1	0	0	0	24
	者	4	9	6	9	5	8	5	5	2	5	3	5	66
	合計	4	9	6	15	19	8	5	8	3	5	3	5	90

- ・児童の利用は2名のみで、宇和特別支援学校の夏季と冬季の休みに利用した。
- ・1名の利用者は、年間を通して月3、4回の利用があり、他の利用者においては、家庭での事情（結婚式や葬儀、運動会等）やスポーツ大会参加の目的で利用した。
- ・日中活動は、主にコスモス班、ひまわり班の活動に参加した。

年間行事

月	施設行事	関係機関行事	地域行事
4	12日(水)お花見 育成園駐車場にて各班合同で実施。		
	9日(日)家庭の日・保護者の会総会 保護者45名参加		
	27日(土)誕生会利用者会議		
5	27日(土)誕生会利用者会議	13日(土)南予福祉施設会ソフトボール大会 野村町運動公園 選手8名・応援12名参加 ～2戦2敗～	13日(土)坊ちゃん球場プロ野球観戦は、ソフトボール大会と重なり中止。
		28日(日)愛媛県障害者スポーツ大会 西条ひうち陸上競技場/松前公園 体育館：陸上24名卓球3名 計27名	

6	6日(火)大掃除(ワックスがけ)	8日(木)第37回福祉のつどいソフトボール大会南予地区大会 雨天順延で歯科検診と重なり不参加。	3日(土)柳沢ホテルまつり 販売等 5名参加
	13日(火)ひまわり、コスモス班1班レク エミフル松前16名参加		
	18日(日)家庭の日(平成28年度事業報告・各班の活動見学・会食・個別懇談) 保護者48名参加		
	20日(火)おはな班レク エミフル松前28名参加		
	25日(日)誕生会利用者会議		
7	3日(月)開園記念日 113名(利用者97名、職員17名)参加 永年勤続表彰、育成園の歴史ビデオ上映会	 <p>平成29年第一期 銅賞</p>	9日(日)大洲市一斉清掃(平曾地区)9名参加
	6日(木)ひまわり、コスモス班2班レク エミフル松前14名参加		21日(金)水天宮花火大会17名参加
	24日(月)宇和島牛鬼祭り見学15名参加		22日(土)大洲学園夜市盆踊大会 33名参加
	30日(日)誕生会利用者会議		
8	5日(土)桃太郎工房夏まつり「45年目の夏」雨天につき屋内で実施 保護者16家族(29名)参加	8日(火)大洲幸楽園納涼祭4名参加	
	27日(日)誕生会利用者会議		24日(木)大洲学園交流会 感染症発症につき中止
9	12日(火)レクリエーション松野町「おさかな館1班」17名参加	23日(土)大洲市障がい者親善ソフトボール大会(大洲学園グラウンド)選手9名、職員4名参加 1回戦敗退(対幸楽園)	2日(土)隣保館まつり販売6名参加
	19日(火)園内敬老会(70歳以上の利用者8名を祝う)88名参加		
	24日(日)誕生会利用者会議		
	26日(火)レクリエーション松野町「おさかな館2班」17名参加		
10	22日(日)家族交流「いもたき」利用者91名、保護者37家族69名参加	14日(土)南予福祉施設会福祉まつり(ウォークラリー)大洲市肱南地区 36名参加	18日(水)衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査投票 81名参加
	26日(日)~30日(月)全国愛顔をつなぐ愛媛国体障がい者スポーツ大会愛媛 選抜で1名参加	17日(火)大洲市障がい者スポーツの集い 大洲市総合体育館 45名参加	21日(土)体験フェスティバル in 交流の家 販売4名参加
			28日(土)レクリエーション「愛顔をつなぐ愛媛国体障がい者スポーツ大会開会式見学」2名参加

	29日(日)誕生会利用者会議		29日(日)障がい者バスケットボール大会 14名参加
11	13日(月)～14日(火)レクリエーション「大阪方面1泊2日」19名参加	16日(木)～17日(金)ゆうあいスポーツ香川大会 12名参加	12日(日)「福祉と健康づくり市民のつどい」大洲市総合福祉センターにて販売 7名参加
	26日(日)誕生会利用者会議		19日(日)肱川ふれあい祭り販売 5名参加
	29日(水)レクリエーション「乙亥相撲」野村町乙亥会館 15名参加		
12	7日(木)大掃除(ワックスがけ)		3日(日)一歩会餅つき 一歩会 13名来園(餅米40kg使用)
	22日(金)園内クリスマス会(各日中活動班での出し物・新任職員のアトラクション・会食) 95名参加		
	22日(金)、26日(火)門松作り		22日(金)大洲喜多法人会よりクリスマスケーキのプレゼント
	24日(日)誕生会利用者会議		
	30日(土)正月飾り取付		
1	1日(日)一之宮神社初詣 18名参加		
	12日(金)コスモス班レク 施設内でゲーム会食 18名参加		
	24日(水)おはな班レク 市内の飲食店で新年会 25名参加		
	28日(日)誕生会利用者会議		
	30日(火)ひまわり班レク アサヒビール園西条店で会食 17名参加		
2	3日(土)節分豆まき 各班で実施	20日(火)日本健康会議より認定	3日(土)今坊公民館・友愛館大会販売5名参加
	18日(日)誕生会利用者会議	 <p>健康経営優良法人 2018</p>	
	25日(日)家庭の日(活動見学、個人懇談、パン販売、講師:新田氏による「障害者虐待防止」の講演) 保護者44名参加		
3	3日(土)ひな祭り会食		11日(日)肱北公民館ロビー展 販売8名参加
	25日(日)誕生会利用者会議		
	31日(土)退職者(1名)お別れ会		

- ・イルミネーション、大洲学園との交流会は、感染症発症のため中止。
- ・毎月第2月曜日に散髪希望利用者を業者「カットスタジオひらた」により施設内で実施した。
- ・毎月開催の利用者会議にて利用者の要望等を伺い、より良い暮らしへ改善を目指した。また、同日日には誕生会を行い、季節の菓子で誕生者を祝った。

利用者会議

【参加状況】 (単位：名)

実施日	4月 30日	5月 27日	6月 25日	7月 30日	8月 27日	9月 24日	10月 29日	11月 26日	12月 24日	1月 28日	2月 18日	3月 25日
1F 男性	18	17	17	17	17	17	17	16	16	17	18	18
1F 女性	17	18	17	17	18	18	14	18	18	18	18	16
2F 男性	28	27	25	23	27	27	22	24	24	25	25	25
2F 女性	22	20	22	21	20	24	20	23	21	20	21	21

- ・各フロアに分かれて、利用者のいの中から進行係を決めて支援者が補助し、なるべく意見等が出やすいように支援しながら会を進めた。

【議題】

1. 生活について（生活面で気になっていること/改善して欲しいこと/健康面など）
電球交換など修繕希望に関することの聞き取り、生活面での困りごとを利用者同士で注意し合う内容を整理して伝える。利用者間のトラブルについては、その都度話を伺い仲良く生活ができるように解決に向けて対応する。
感染症が発症した際には、手洗いやうがい、換気、清掃等の強化に努めることを話し合い、各利用者に取り組んでいけるよう、理解を深めた。
施設内の修理工事などの情報をお伝え、安全に生活ができるように配慮した。
2. 日中活動について
班で実施したい希望活動内容は、取り入れていくように対応した。レクリエーションの内容については、希望の場所や内容、利用者の要望に沿った内容を取りまとめて実施した。
3. 食事について（メニュー要望など）
食べたいメニューが毎回たくさんあり、献立に取り入れるようにした。また、食事時のトラブルなどは、その都度話し合い席替えなどで対応し気持ちよく食事ができるようにした。
4. 行事について（各種行事の情報を伝え、参加希望の聞き取り/参加した行事の感想）
実施した行事や参加した催し物、レクリエーションなどに対し、「よかった」「また行きたい」「いまいちだった」などの率直な感想があり、次回への参考にする。また、これからの行事や地域イベントの情報提供を行い、行きたい催しなどの要望に対応できるように配慮した。
5. その他（様々なテーマで話し合う）
その月の誕生者を紹介し、みんなで歌を歌って季節の菓子などを頂きながら祝った。

地域活動支援センター

指導員 中岡靖之、小林友紀、米澤昌史

1. 利用状況

項目	平成 29 年度			平成 28 年度		
定員	15 人以上			15 人以上		
契約数	18 人	男性	8 人	17 人	男性	7 人
		女性	10 人		女性	10 人
開所日数	239 日			244 日		
延べ利用者数	2,554 人	1 日当たり		2,717 人	1 日当たり	
		10.6 人			11.1 人	
延べ給食利用者数	2,616 人	1 日当たり		2,832 人	1 日当たり	
		10.9 人			11.6 人	
延べ送迎利用回数	3,971 回	1 日当たり		4,098 回	1 日当たり	
		16.6 回			17.6 回	

・9 月に男性利用者が 1 名、増えました。

平成 30 年 3 月 1 日現在

		内 訳					
年齢構成		20 歳～	30 歳～	40 歳～	50 歳～	60 歳～	合計
		3 人	11 人	4 人	0 人	0 人	18 人
地域別	大洲市	3 人	7 人	4 人	0 人	0 人	14 人
	内子町	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	3 人
	八幡浜市	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	1 人
障害状況	A	3 人	8 人	4 人	0 人	0 人	15 人
	B	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	3 人
支援区分	2	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
	3	1 人	4 人	1 人	0 人	0 人	6 人
	4	1 人	5 人	2 人	0 人	0 人	8 人
	5	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	2 人
	6	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	2 人

2. 活動内容

契約書・重要項目説明書に基づき、支援を行った。

利用者支援においては、個々の解決すべき課題を把握し、利用者や保護者の意向を踏まえて基本的な生活習慣が身につくよう、地域生活への適応性を高め、楽しく活動でき、自立した生活が送れるよう支援を行った。また、健康状態の把握を行い、早期の対応に努めた。

(1) 創作活動

- ・ 工芸、絵画 季節を表現した壁面作りを年7回行った。
七夕飾り（笹飾り）作りに取り組んだ。
- ・ 園芸 門周辺にチューリップの球根植え、中庭の除草を行った。
「花いっぱい運動」に取り組み、ベゴニア、マリーゴールドを育てた。
- ・ カラオケ 個々が選曲し歌を歌い、リズムを取って楽しむ。
- ・ 生産活動 空き缶（アルミ缶）リサイクルは、週2回活動に取り組み行った。

	29年度	28年度
アルミ缶生産数	320 kg	330 kg
竹涼音生産数	30 個	
収 入	42,300 円	9,900 円

空き缶リサイクル、竹涼音の収入については、工賃一時金として支払予定。

(2) 機能訓練

- ・ 日常生活動作 食事・排泄・歯磨き・更衣など必要に応じて支援を行った。
- ・ 歩行 健康増進と肥満対策のため、個々の利用者の身体状況に応じた歩行を行った。また、雨天時には、音楽に合わせて室内歩行・ストレッチ体操を行った。
- ・ 家事訓練 清掃活動を通して、掃除機掛け・拭き掃除・ガラス拭きを行った。昼食時には、テーブル拭き・配膳・片付けを行った。調理実習でところてん、フレンチトースト、簡単スイートポテト、やみつきクッキー作りを行った。

(3) 社会適応訓練

- ・ 言葉や生活マナーなど 挨拶することを始め、交流の中で気持ちよく生活できるように心がけた。食育体操を行い、食に関心を持ちマナーや感謝することを支援した。
- ・ 社会体験 施設の行事、障害者福祉協会などの行事を通し、他の施設の利用者との交流を深めた。
- ・ 相談、援助 利用者及びその家族の方からの相談に可能な限り必要な支援に努めた。
- ・ スポーツ、レクリエーション フライングディスクやレクリエーションバレーボールなどのスポーツ、風船バレー、ボーリング、ダンスなどのレクリエーションを楽しんだ。遠足（野村町ホワイトファーム）、遠足（内子町知清公園）、（上須戒芋園）芋ほり体験、（双海潮風ふれあい公園）を楽しんだ。
- ・ 健康指導 検温、血圧測定、体重測定等を通して健康状態の把握に努め、異常が見られた場合には、保護者に連絡し対応した。

(4) 給食サービス

利用者の状況に応じて、刻み食・油抜き食・マンナン食・主食の大小などを用意し、食事支援・配膳支援を行った。

(5) 送迎サービス

大洲市・内子町を送迎実施区域として、安全運転を心がけ送迎を行った。

3. 年間行事と内容

月	日	曜	行事	場所	内容	参加者
4	4	月	お花見	ゲートボール場	弁当を食べ、お花見を楽しむ。	14人
5	24	水	レクリエーション	野村町ホワイトファーム	玄関前で弁当を食べた後、ウサギ小屋やヤギ小屋を見学。施設内を散策する。	12人
6	8	木	歯科検診	2階会議室	愛媛県口腔保健センターによる歯科検診を受診	9人
	13	火	調理実習	日常生活訓練室	ところてん、フレンチトーストを作る	11人
7	3	月	開園記念日	日常生活訓練室	育成園の歩みについて、プロジェクターを使い鑑賞する。	13人
	20	木	ミュージックケア	日常生活訓練室	入所の利用者と一緒にリズムに合わせてながら楽しむ	9人
	26	木	レクリエーション	内子町知清公園	内子町自治センターで軽運動を行った後、弁当を食べ知清河原奥のからり橋を散策する。	15人
8	21	月	避難訓練	日常生活訓練室	地震想定避難訓練を実施	11人
	22	月	リサイクル活動	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル、販売を行う。	10人
	23	水	歌&書道ライブ	日常生活訓練室	歌と書道のパフォーマンスを見学する。	12人
9	19	火	敬老会	日常生活訓練室	入所の利用者と交流を持ち、寿光会による歌や踊りを見学する。	11人
	26	木	福祉体験	日常生活訓練室 グラウンド	大洲北中学の学生と風船バレーやフライングディスクを行う。	11人
10	17	火	スポーツの集い	大洲市総合体育館	全員楽しく競技に参加している。	12人
	25	金	いも掘り	上須戒観光いも園	いも掘り後、弁当を食べ後、帰園する。	13人
11	14	金	避難訓練	食堂	原子力災害時想定避難訓練を実施	12人
	17	金	交流会	日常生活訓練室	平小学校5年生と交流会(演奏、風船バレー、手品)	10人
	21	火	調理実習	日常生活訓練室	スイートポテトを作る。	11人
12	1	金	交流会	日常生活訓練室	平小学校5年生と交流会(雪だるま、ク	9人

					クリスマスツリーの壁面作り)	
	6	火	予防接種	2階会議室	澤井医院来園され、インフルエンザの予防接種を受診する	9人
	15	金	予防接種	2階会議室		1人
	18	月	避難訓練	日常生活訓練室	シェイクアウト訓練を実施	13人
	22	金	クリスマス会	日常生活訓練室	ダンス、歌合戦に参加。昼食バイキングを楽しむ。	13人
1	4	水	書初め	日常生活訓練室	自由に自分の好きな言葉や抱負を書く	12人
	26	金	避難訓練	日常生活訓練室	夜間想定避難訓練を実施	10人
2	20	火	調理実習	日常生活訓練室	やみつきクッキーを作る。	11人
3	15	木	レクリエーション	双海潮風ふれあい公園	公園内で弁当を食べた後、遊具を使って自由に遊ぶ。	10人
	23	金	口腔ケア	日常生活訓練室	入所の利用者と口腔ケア体操を行う。	10人
	28	水	リサイクル活動	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル、販売を行う。	13人

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

I 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行った。

【療育支援実績】

対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活におけるアドバイス・援助をした。	2
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行って、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行った。	1
合計		3

II 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護の

ために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整などの地域で生活していくための支援を夜間の緊急時の相談を含めて対応した。また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行った。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	35	3	11	1	10	0	55	5
延件数	363	24	142	0	117	0	622	24

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	104	51	21	176
来所	11	1	3	15
同行	23	5	5	33
電話	89	32	35	156
電子メール	5	0	0	5
個別支援会議	14	4	6	24
関係機関	140	48	47	235
その他	1	1	0	2
計	387	142	117	646

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	153	11	18	182
障害や病状の理解に関する支援	0	0	0	0
健康・医療に関する支援	24	18	3	45
不安の解消・情緒安定に関する支援	25	22	35	82
保育・教育に関する支援	7	0	7	14
家族関係・人間関係に関する支援	27	10	27	64
家計・経済に関する支援	18	43	10	71
生活技術に関する支援	37	11	1	49
就労に関する支援	56	6	1	63
社会参加・余暇活動に関する支援	0	0	0	0
権利擁護に関する支援	11	3	13	27
その他	29	18	2	49
計	387	142	117	646

Ⅲ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

大洲市から指定特定相談支援事業所者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町・八幡浜市・西予市に在住し福祉サービスを利用する方に対して、計画相談を実施する。

本人、家族の気持ちを聞き取り、計画を作成し利用事業所との連絡調整を図った。また、モニタリングについても定期的に行った。

計画相談件数 (者) 計画 118 件 モニタリング 103 件
 (児) 計画 9 件 モニタリング 1 件

IV 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業

(1) 内容

障害者虐待防止のため寄せられた情報を基に訪問をしていき調整を図った。

今年度は3件訪問をした。

苦情解決への取り組み

受付日	受付者	種別	苦情・希望内容等	対応
6月8日(水)	主任指導員	支援員の態度、説明不足	思い出のある衣類を勝手に捨てられた。 言葉かけが厳しい時がある。 (2F女性利用者)	衣類整理を利用者と一緒にしても衣類が減ると同じ状況がある。衣類の処分は保護者で行うことで納得。言葉かけは支援員が意識して改善することで納得。
6月21日(水) サービス相談日	第三者委員	利用者間のトラブル	水筒のフタを投げられた。注意して欲しい。	相手側利用者へしない様をお願いし申し出人へ謝罪することで納得。
9月21日(水)	主任指導員	説明不足 職員姿勢	弁当業者からの苦情。施設からの注文で弁当を納品したが、その後になって給食用物資納入業者登録申請書が届く。	施設側の規定に基づく対応であるが、説明不足であったことを謝罪し治めていただく。
1月16日(水) サービス相談日	第三者委員	希望	①パジャマが1枚しか無いので買いたい。②にぎり寿司が食べたい。 ③お菓子が買いたい。	外食を兼ねた園外活動を実施することで納得。
3月14日(水) サービス相談日	第三者委員	支援員の言葉	居室を替わりたくないのに、「二階に上げるよ」と言われた。	心理的威圧になり支援員に改善を指示し納得。
3月14日(水) サービス相談日	第三者委員	利用者間のトラブル	就床前に同室者がナイロン袋を触っていて眠れない。	同室者へ就床前のナイロン袋で音を立てないように願う。夜勤者へ改善への対応を周知。

3月14日(水) サービス相談日	第三者委員	利用者間の トラブル	同フロアの利用者が僕をいじめ める。	相手側利用者へしない様をお願い して了承を得る。支援員へ配慮を 願います。申し出人へも威圧的 な言葉かけで興奮される状況があ るので互いに注意することを伝え 納得。
3月14日(水) サービス相談日	第三者委員	希望	4月から新聞(愛媛、読売)を 取りたい。	本人負担で購入するのは問題ない ですが、以前から広告等で他利用 者とトラブルがあることを説明 し、本人に判断をお任せすると、 フロアにある愛媛新聞で大丈夫と 納得。
3月18日(日)	主任指導員	利用者間の いじめ	保護者から受付。弟(利用者) が他の利用者にいじめられて いる。居室移動を希望。	利用者本人は「いじめられてない」 と言うが、「恐ろしい」思いはあり 居室替えを行うことで了承。

- ・サービス相談日を、年4回(6月21日、9月13日、1月16日、3月14日)実施し、第三者委員(伊賀氏, 中野氏, 小澤氏)が利用者の相談に対応する。第三者委員と自由に様々な会話を楽しんでいった。また、毎月フロアごとに利用者会議を開催し、利用者の意向を確認する。
- ・苦情の内容・解決等については、広報誌「つばさ」に載せて情報を公開した。
- ・虐待防止施設内研修会(2/25)を実施し障害者虐待防止、人権擁護、差別解消に係る理解を深めた。

食事サービス

管理栄養士 米澤侑子

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	生活介護	就労	センター	短期入所	日中一時	計
朝	7:30	夜勤・宿直者	7:45	28,656	0	0	641	0	29,297
昼	11:30	施設職員	11:45	23,886	4,694	2,542	727	71	31,920
夕	17:30	夜勤・宿直者	17:45	28,645	0	0	728	31	29,404
計				81,187	4,694	2,542	2,096	102	90,621

(2) 調理従事者

管理栄養士	調理員	計
1名	7名	8名

(3) 給与栄養目標及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	1,900kcal	1,890kcal	ビタミン B2	1.20mg	1.00mg
たんぱく質	63.0g	69.7g	ビタミン C	100mg	131mg
脂質	52.0g	47.0g	食物繊維	19.0g	13.9g
炭水化物	302.1g	285.3g	食塩総量	7.5g	7.5g
カルシウム	700mg	1,004mg	炭水化物エネルギー比率%	63%	61%
鉄	7.0mg	17.4mg	脂質エネルギー比率%	24%	23%
ビタミン A	800 μg	718 μg	たんぱく質エネルギー比率%	13%	15%
ビタミン B1	1.00mg	1.81mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	55g	47.6g	いも類	いも類	50g	38.4g
	干物・乾物・塩蔵	8g	10.2g		いも加工品	5g	3.4g
	練製品	10g	11.3g	果実類	果実類	60g	47.5g
肉類	肉類	60g	73.7g		加工品	5g	1.8g
	加工品	10g	12.2g	穀類	米	250g	241.9g
乳・乳製品	牛乳	180g	181.7g		パン	25g	18.6g
	乳製品	65g	46.6g		めん類	25g	19.8g
卵類		25g	29.7g		その他穀類	2g	1.0g
野菜類	緑黄色野菜	160g	137.6g	豆類	大豆・その他の豆	5g	0.6g
	その他野菜	200g	213.7g		大豆製品	40g	41.1g
	乾燥野菜	5g	0.9g	油脂類	油脂類	10g	6.7g
	野菜漬物	2g	1.3g	調味料	調味料	180g	166.0g
きのこ類		30g	17.2g	砂糖及び甘味料		10g	10.5g
藻類		3g	1.6g	その他食品		100g	105.5g
種実類		2g	1.1g	菓子類		5g	4.5g

(5) 食事形態（重複あり）

一般食	人数	特別食	人数
普通食(特大)	6名	減塩食	14名
普通食(大)	28名	減量食	20名
普通食(小)	13名	アレルギー食	1名
		刻み食	40名
		軟飯・おかゆ食	7名

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
4月12日	お花見	お花見弁当	12月31日	大晦日	年越しそば
5月5日	端午の節句	柏餅	1月1日～3日	元旦	おせち料理
7月3日	開園記念日	記念日メニュー	1月8日	七草粥	七草粥
7月7日	七夕	七夕メニュー	2月2日	節分	巻きずし
8月12日	お盆	おはぎ	2月14日	バレンタイン	チョコレートケーキ
12月3日	餅つき	餡餅	3月3日	桃の節句	ちらしずし
12月22日	クリスマス会	クリスマスメニュー クリスマスケーキ	3月21日	春分の日	ちらしずし
12月29日	忘年会	鍋料理			

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事者の手洗いの徹底・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施
(赤痢、サルモネラ、0-157、ノロウイルス)
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱
- ・調理従事者の毎日の健康チェック



(8) 栄養ケア・マネジメントの実施

全利用者対象に個別支援計画の一環として栄養ケア・マネジメントを実施した。ケア計画作成のため、利用者・サービス管理責任者・看護師・管理栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺った。また、利用者の身体・食事状況に問題が生じた際にはケア計画を見直し、作成し直した。

(9) ヒヤリハット・アクシデント報告

ヒヤリハット・アクシデント報告を実施し、再発防止に努めた。

保健衛生

看護師 岡崎早苗

利用者の健康状態を昼間及び夜間の生活のあらゆる機会を通して看護師、生活支援員が把握に努めた。また、健康診断や日々の健康状態把握において病気の早期発見に努め、異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関と連絡をとり、通院治療・入院治療を行った。

施設内で処置ができるときは、病気の治療・予防等の支援を行ったが、近年利用者の高齢化により、機能等の低下が顕著に現れ、認知症との診断5名、車いす使用者16名、歩行器利用者6名、エアマット使用者5名となっています。特に嚥下機能の低下者は増加しており、刻み食（あら刻み・小刻み）は41名となっている。食事介助を必要とする利用者が増加傾向にあるため、支援内容の見直しが必要となる。

○ 健康診断

・第一回＜愛媛県総合保健協会＞（6月15日） 81名実施

・第二回＜喜多医師会病院＞（10月10日～11月21日） 81名実施

年2回健診を行い、結果についてはかかりつけの医師に相談しながら必要に応じて二次検査等を進め、糖尿病、便秘症、コレステロール高値で治療開始者あり、中性脂肪高値で変薬者あり。

・子宮がん検診25名、乳がん検診22名（8月22日～9月26日）実施 全員異常なし。

○ 歯科検診＜愛媛県歯科巡回診療＞（6月8日） 81名実施。8名治療（歯石除去受ける。）
虫歯治療開始者6名あり。

○ 感染症発症について

8/18～8/25にアデノウイルス感染性結膜炎に利用者2名罹患し8/18感染症対策委員会実施。

12/7～12/20にインフルエンザA型に入所者7名、職員4名罹患し12/7、12/18、12/21に感染症対策委員会実施。

○ 予防接種

・インフルエンザ予防接種（12月2日～1月31日）79名実施。

・肺炎球菌感染症予防接種＜大洲市による高齢者の今年度該当者＞（11月2日）58名実施。

○ 運動機能訓練について

・今年度は機能訓練指導員のもと運動機能訓練を行う。

・運動機能低下予防のため、健康運動指導士の蒔智子氏に依頼し、毎月1回スマイル体操を実施。
毎日の日中活動・余暇の時間等で体操等取り入れて、低下予防に取り組む。

○ 通院状況

定期的に通院を実施し、投薬、処置等するとともに、日々の生活の中において個別に食事療法、適度な運動、日光浴（外気浴）等、疾病の予防に取り組む。

○ 入院状況

延べ20名（実人員14名）が入院治療する。肺炎（誤嚥性肺炎、気管支肺炎）、脳梗塞、癲癇、乳がん手術、胃癌手術、汎血球減少症、腎盂炎、気管支炎、副鼻腔炎、頭部打撲、窒息、食欲不振他）

実習生・ボランティア受入

月 日	学校・団体名	内 容	参加者
①6月1日（木） ②6月12日（月） ～14（水）	地活センターかみやま	①清掃業務に係る施設見学 ②清掃業務の職場体験実習	利用者2名 支援者2名
6月28日（水）	宇和特別支援学校 肢体不自由部門	平成29年度キャリアガイド教室	高等部2年生5名 教員7名
7月3日（月） ～14日（金）	相談支援事業から依頼 （個人）	他事業所への就職に伴う職場体験実習	女性1名
7月10日（月） ～12日（水）	大洲南中学校	障がい児職場体験学習	2年生1名 教員1名
8月5日（土）	ボランティア	桃太郎工房夏まつり	学生, 一般16名
9月25日（月）	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生3名
9月26日（火）	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生3名
10月13日（金）	大洲平小学校	福祉体験交流会① （事業説明. 施設内見学）	5年生51名 教員3名
10月17日（金）	大洲平小学校	福祉体験交流会② （地域活動支援センター）	5年生51名 教員3名
11月25日（土）	県社会福祉協議会	福祉介護事業所見学体験	学生3名 一般3名
12月1日（金）	大洲平小学校	交流会 （イルミネーションの飾り付け）	5年生51名 教員3名
12月3日（日）	一步会	交流会（餅つき）	15名
12月22日（金）	大洲喜多法人会	交流会（クリスマスケーキプレゼント）	5名

安全危機管理 災害対策

防火管理者 西川 勝典

訓練及び法定点検等の実施状況

実施日	実施内容	参加者
4月18日	大洲消防署へ消防計画書届出（人員配置換えによる変更）	
4月21日	地下タンク法定点検を実施	
6月21日	救助訓練 日中、土砂災害が発生し大洲市危機管理課より避難準備情報が発令の想定で訓練を実施	104名
7月7日	フロン排出抑制法に基づく空調設備点検を実施	
7月10日	防災連絡網訓練 愛媛県知的障害者福祉協会 四国地区防災訓練を実施	
7月19日	防火設備定期検査ならびに特殊建築物定期調査を実施	
7月28日	防災教育・消火訓練・通報訓練 日中、実火災を想定して避難訓練を実施 大洲消防署職員による一次救命処置（AED）、模擬消火器を使用した消火訓練、防災教育を実施	19名
8月21日	避難訓練 日中、震度6強の地震が発生した想定で訓練を実施	113名
9月20日	避難訓練 日中、厨房より出火した想定で訓練を実施	119名
9月20日	サンヨー防災 消防用設備等定期点検を実施	
10月26日	総合訓練 夜間、1階居室から失火を想定し訓練を実施 大洲消防署、サンヨー防災（消防設備保守業者）立会の中、総合訓練を実施	97名
11月14日	愛媛県原子力防災訓練 大洲市災害対策本部より原子力災害発生の防災無線を確認し屋内退避訓練を実施	94名
12月5日	防犯訓練・防犯教育 日中、不審者が侵入した想定で訓練を実施 大洲警察署、セコム大洲営業所、立会いの中、警備会社と連携した防犯訓練を実施 不審者対応の実技、刺す又などを使用した防犯に関する講話で職員教育を行う。	20名
12月12日	日本防災士会愛媛県支部による実地指導 愛媛県防災力強化支援事業による補助事業として実施	
12月18日	地震防災訓練 シェイクアウトえひめ 県民総ぐるみ地震防災訓練を実施	109名

1月9日	フロン排出抑制法に基づく空調設備点検を実施	
3月16日	広域避難時に係る避難ルートの確認 宗友福祉会（協定法人）まで避難ルートを確認、利用者受入先と情報交換を行う。	2名
3月26日	サンヨー防災 消防用設備等定期点検を実施	

【総括】

事業計画、消防計画に基づき、全ての訓練を実施することができた。「館内の設備であれば、出火場所以外の居室であれば、落ち着いて避難すれば問題ない。利用者の高齢化に伴い、歩行困難者が増えており、職員の協力体制が不可欠で連携の際には大きな声で、的確な指示を行うように」消防署の指導がありました。施設の立地条件は、土砂災害警戒区域に指定されている状況で災害時には、近隣住民や近隣施設との協力体制も必要です。その為、30年度には、大洲市危機管理課を交え近隣施設と合同訓練を実施する予定です。法改正等に伴う新たな検査、調査についても法令に従い全て実施し、修繕や改善が必要な個所については直ちに対応した。また、福祉避難所の指定についても大洲市と協定書を交わし、避難所としてのハード面の整備を図ると共に、県指導監査で指摘があった「事業継続計画（BCP）の策定」などについても安全衛生委員会が主体となって取り組み、利用者、職員の安全と安心を今まで以上に構築できるようにあらゆる面での整備を進める。

職員会・支援会議及び各種委員会

（1）職員会

実施日	参加者	内 容
4月25日	12名	1. 施設長挨拶 2. 事務連絡 3. 利用者会議、フロア会議等からの議題を検討 4. 施設入所利用者の状況報告 5. 日中活動の状況報告 6. 各種委員会報告 （サービス向上・倫理・保健給食・安全衛生・広報・地域交流・研修・レクリエーション/ 個別支援・苦情等） 7. 行事関係 8. その他（研修報告等）
5月31日	14名	
6月29日	14名	
7月31日	13名	
8月31日	15名	
9月27日	15名	
10月31日	12名	
11月28日	13名	
12月26日	13名	
1月31日	13名	
2月27日	11名	
3月27日	14名	

職員全員に職員会会議録を回覧し内容を周知する。

(2) 支援会議（各フロア会議、ケース会議等）

施設入所支援・生活介護・就労継続B型	月	件数	内容	備考
	4月	5	各担当、各班活動、居室替え等について。支援体制確認。機能訓練の取り組み。マニュアル見直し。感染症対策について。個別支援確認。	【個別支援計画】 ・9月、3月には各利用者のモニタリング、個別支援会議を実施し個別支援計画の見直しを行う。 施設外支援（職場実習）の利用者に対しては1週間毎にモニタリング、個別支援会議を行い計画を見直した。 ・利用者の入院に伴い随時見直しを行った。 また拘束や問題行動対応の支援会議を行った。
	5月	6	個別支援の内容。活動班レクリエーション。利用者支援に伴う居室移動。業務体制確認等。	
	6月	4	個別支援の対応について。利用者支援見直しについて。活動班レクリエーションについて。	
	7月	3	個別支援(モニタリング)。設備改善。事故の検証, サービス内容確認, 改善。清掃業務の対応等	
	8月	4	利用者の状態把握と今後の支援について。短期入所利用終了時の報告。	
	9月	6	各利用者のモニタリング、個別支援計画見直し。虐待事例検討。機能訓練支援。活動班レクリエーション等。通院報告書について。女性入浴の改善。	
	10月	3	介護リフトについて。感染症対策について。虐待防止について。	
	11月	6	介護リフトについて。食堂流し台について。業務確認。活動班レク(忘年会等)。空気清浄機加湿器について。	
	12月	3	利用者の健康確認。静養者の支援。班レクリエーション。清掃業務確認。監査指摘事項の対応。事故の検証, サービス内容改善。	
	1月	5	事業計画の反省と次年度の計画。監査指摘事項の対応。退院後の支援体制。入院者のモニタリング。就労利用者の仕事、健康、生活面等について。短期入所受け入れについて。廊下手すりの機能訓練活用の不備。居室, 食堂席の変更。	
	2月	3	H29年度の事業計画について。監査指摘事項の対応。事業計画に対して利用者と話し合い。個別対応支援について。設備改善。支援協力。口腔体操の取り組み。	
	3月	2	H30年度の事業計画について。生活担当者見直し。フロア移動について。食堂介助用椅子について。機能訓練用平行棒について。後見人選定に係る報告。	

(3) サービス向上委員会

利用者の快適な生活に伴う適切なサービス提供のため、利用者会議やフロア会議、職員会等

から提案された「支援・設備・環境」等の検討及び改善を図った。1月接遇マナー施設内研修を実施した。

実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・布団の整理（処分、洗い、入替、シーツ補充等） ・各フロア談話コーナーのテレビ、DVD等の購入と利用 ・食堂手洗い場横の棚の鍵の取り扱い ・寝具入れ替え ・居室の仕切りカーテンの購入 ・新トイレドア使用の状況確認 ・衣類の整理 ・サービス向上委員会の活動内容確認、現マニュアル確認 ・食堂横の自動販売機撤去 ・居室カーテンの洗濯 ・各フロアの血圧計設置、トイレ設置の前傾手すり取付 ・浴室外のすだれ設置、脱衣室でのストレッチャー利用 ・利用者の意思決定 ・女性入浴支援と脱衣室のマット使用 ・脱衣場の目隠し（プライバシー保護） 	<ul style="list-style-type: none"> ・居室レースカーテンの見直し ・台車の利用 ・入浴利用時での排便処理 ・ペーパータオルホルダー取付 ・食堂横の新自動販売機取付 ・浴室前のロールカーテン取付位置変更 ・脱衣室内ベンチからの転落防止 ・寝具の洗濯の出し方 ・1月25日の接遇マナー研修会の打ち合わせ 施設内研修会（接遇マナー研修会）講師：金田由美子氏 「関わり方とコミュニケーション」 ・食堂の席替え ・介護リフト体験 ・手すりの機能訓練使用不可 ・口腔体操実施

【総括】 利用者の快適な生活の確保のため、上記の内容を検討し改善を図った。

今年度内に改善ができず、「介護リフト」「食堂流し台」「機能訓練用平行棒」の導入や改善が新年度へ持ち越しとなる。

（４）地域交流委員会

地域の人々との交流を図る行事を企画し実施した。

【実施内容】

7月9日（日）	大洲市一斉清掃 11名参加（利用者9名、支援員2名）	
8月5日（土）	桃太郎工房夏まつり 「45年目の夏」 16家族29名の保護者が参加	雨天の為、屋内で実施
12月16日（土）	イルミネーション	インフルエンザA型の蔓延防止の為、中止

【総括】



上記の交流行事を企画した。「大洲市一斉清掃」は早朝から地域の方々と防災訓練を行った後、続けて平曾地区の皆さんと一緒に草刈りを実施し交流を深めた。「桃太郎工房夏まつり」は雨天により屋内で実施した。地域の皆さんやボランティアの方々の参加で盛り上がった。

「イルミネーション」については、感染症発症に伴い中止する。今後も交流の場を広げられる企画の立案に向け検討する。

(5) レクリエーション委員会

ADLの向上を目指した施設外での活動企画や施設内行事及び地域のイベント参加等を企画した。

【実施内容】

企画名	内 容	参加者	
		利用者	支援員
開園記念日を祝う会	ビデオ上映会、会食を実施	95名	
水天宮花火大会	如法寺河原で花火を鑑賞	12名	6名
大洲学園夜市	大洲学園グラウンドで開催された夜市に参加	28名	9名
うわじま牛鬼まつり（日帰り）	宇和島市内で祭りを観覧	11名	5名
おさかな館①（日帰り）	松野町にある「おさかな館」でペンギンショーなどを観覧	17名	8名
敬老の日を祝う会	プレゼント贈呈、記念撮影、コンサートを開催	85名	16名
おさかな館②（日帰り）	松野町にある「おさかな館」でペンギンショーなどを観覧	17名	8名
愛顔つなぐ愛媛国体 第17回全国障害者スポーツ大会	開会式に参加	2名	1名
	大洲市総合体育館 バスケットボール (知) 試合観戦 	14名	7名
乙亥大相撲	野村町乙亥会館で行われた大相撲を観戦	15名	8名
大阪1泊2日旅行	大阪方面へ旅行	19名	7名

【総括】

今年は「愛顔つなぐ愛媛国体」が行われバスの手配時期が限定された為、それに合わせて実施時期を調整して行った。また、利用者の状況から遠方への移動が難しくなっており、大洲近隣でのレクリエーションを検討し、うわじま牛鬼まつりや乙亥大相撲観戦を初めて実施し、好評でまた行きたいという意見が聞かれた。「愛顔つなぐ愛媛国体障害者スポーツ大会」の開会式や、大洲市で行われた競技の観戦にも参加をした。

(6) 保健給食委員会

保健給食委員会は、利用者の保健面（看護師）・食事面（栄養士・調理師）・生活面（生活支援員）等において検討を行い、利用者のより良い生活ができるよう改善を図った。

施設内研修会（8月感染症予防）及び感染症マニュアルの周知と検討を行った。

【実施内容】

- ①感染症対策委員会 … アデノウイルス感染性結膜炎、インフルエンザA型の発症に伴い検討を行い蔓延防止に努めた。

②感染症対策研修会

8月30日	・感染症対策・基本的な手洗いについて	参加者 48名、外部参加者 4名
3月7日	・集団感染及び食中毒防止対策マニュアル研修について	参加者 21名

③緊急対応研修

9月6日	・AED講習会	参加者 12名
------	---------	---------

【総括】

感染症発症により施設行事等へ影響があり、予防接種の時期見直しが課題です。

3月に実施した感染症防止に対するチェックリストについては、平成30年度の施設内研修会資料として活用し、予防に向けた改善を目指す。

(7) 安全衛生委員会

施設における防災・防犯については安全衛生委員会が企画・立案し、安全・安心な環境整備、訓練を実施した。(訓練等の実施状況は、安全危機管理 災害対策に掲載)

29年度に於いても運転経歴証明書を活用した取り組みを実施し、職員54人全員がSDカードを取得することが出来た。

29年度は、公用車2台の入替を行った。運転者の安全運転意識の向上や事故に巻き込まれた時、当て逃げなど不測の事態が起こった時に具体的な事故の状況を第三者に伝えられるように運転記録としてドライブレコーダーを装備した。他の公用車についても順次、整備していく。



また、職員のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるためのストレスチェックについては、プライバシー保護等の観点から業者委託とし、健康管理等も行った。

職員が心身ともに健康で働き続けることができる事業所を目指し「健康経営普及推進」に努めた。

(8) 倫理委員会

人権擁護、虐待防止、障害者差別解消等に関わる啓発活動(随時)、虐待防止チェックリスト(年2回・9月・2月)を実施した。人権擁護、虐待防止、障害者差別解消に関わる施設内研修

(年1回2月)の実施。虐待防止マニュアルの周知と検討を行った。事故報告書及びヒヤリハットを検証し再発防止に努めた。

【実施内容】

- ・虐待防止チェックリストの実施(9月、2月)
- ・施設内研修(障がい者の虐待防止法と差別解消法について/2月家庭の日に実施)

1. ひやり・はっと報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒 転落	1		1						1		1		4
暴力 暴言			1		1			2			1	1	6
怪我							1				1	1	3
食事									1				1
服薬			3				1	1	4	9	2	2	22
無断 外出										1		1	2
他			1					1					2
合計	1	0	6	0	1	0	2	4	6	10	5	5	40

2. 事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
服薬				2					2	1	1	1	7
転倒 転落	3	3	7	2	1	3	3	1	5	2	4	5	39
暴力	6	4	1		2	1	6			4	3	2	29
窃盗	1	1	1	1									4
破壊		1						1	2	1			5
所在 不明	1											1	2
他		1		1		1		1	1	1			6
合計	11	10	9	6	3	5	9	3	10	9	8	9	92

【総括】

- ・5月21日、利用者が頭部裂傷の事故が発生し、南予地方局、八幡浜市に報告した。

- ・7月24日、誤嚥による救急搬送後に死亡の事故が発生し、南予地方局、八幡浜市に報告した。
- ・8月21日に感染症罹患利用者2名に対する居室閉じ込めの事案が発生し、県南予地方局、大洲市、内子町に報告した。その後、市町から聞き取り調査を受けた。
- ・12月23日、食事を喉に詰め救急搬送後に死亡の事故が発生し、南予地方局、内子町に報告した。高齢化からの足元不安定、立位や座位保持不安定な利用者が見られ、転倒・転落の件数は多い状況です。特定の利用者による情緒不安定からの暴力、物投げ、勝手に人の物を取る状況も続いているので改善を図ります。事故報告の内容検証と検討を行い発生減少に繋げる。

(9) 広報委員会

法人の広報に関すること。広報誌「つばさ」年4回発刊。ホームページに随時情報掲載。

発行日	平成29年度の広報誌
4月1日	大洲育成園だより「つばさ」春号 《第259号》
7月1日	大洲育成園だより「つばさ」夏号 《第260号》
10月1日	大洲育成園だより「つばさ」秋号 《第261号》
1月1日	大洲育成園だより「つばさ」冬号 《第262号》
随時	ホームページに掲載

【総括】

広報講習会に参加し、プロから編集のノウハウや工夫を学ぶことができた。また、共に学ぶ他施設の職員等にホームページの紹介を行うなど広報活動にも努めた。広報誌の記事を事前に各担当へ依頼し、発行日に遅れることなく発行できた。

(10) 研修委員会

福祉施設職員の人材育成を図るため、支援及び介護技術の向上等に関する施設内研修を企画し、7月、2月に実施した。また、重度化・高齢化が進む中、3施設の老人施設での1日実習や見学を行い2月の施設内研修で報告会を行った。

<実施内容>

1. 施設内研修会 「転倒予防のための運動」を、講師をNPO法人「歩」の健康運動指導士 蔭智子氏にて実施。
2. 老人介護施設実習（1日体験実習：長浜ひまわり・つわぶき荘 /見学:自在園）
3. 施設内研修会 「老人介護施設実習の報告会」を実施。

【総括】

7月に実施した研修会では、実際に職員が体験したことで利用者への支援につながったことや2月の老人施設での実習の報告会は、実際の現場での状況が写真等でも伝えられ、職員からはわかりやすかったと高評価であった。今後も利用者の快適な生活環境保全及び適正なサービスを提供する人材育成を目指す。

(11) その他の委員会

①後見人選定に係る協議会

【発足理由】

利用者との契約や個別支援計画作成等に係る業務において、保護者や身元引受人のいない利用者との契約や個別支援計画作成等に係る業務において、事務手続きが滞る事態が発生しています。今後、保護者等が死亡等の理由で変更する場合、身元引受人として引き受けてもらえない状況や預り金残高が10,000千円を超える高額となり、職員の取り扱いに係るリスク回避を鑑み、対象利用者について成年後見人等を選定する協議会を発足しました。施設長をはじめ主任等管理職や有識者を委員として参集し、協議を行う。

【委員構成】

役職名	氏名	
施設長	東谷 弘子	管理者
事務長	宮脇 忠	委員長（運営・記録）
主任指導員	池田 隆三	総括
係長	谷山 洋二	介護福祉士（有資格者）
係長	水本 百合子	介護福祉士（有資格者）
係長	祖母谷 洋子	介護福祉士（有資格者）
生活支援員	菊池 潤一	社会福祉士（有資格者）

実施日	協議内容	参加人員	記録の有無
9月26日	第1回協議会 ①協議会発足に係る趣旨説明 ②対象となる利用者のリストアップ ③今後の予定 ④関係機関への出張（事務打合せ）担当：菊池、宮脇	7名（全員）	有
11月27日	関係機関への出張（事務打合せ）大洲市	担当：菊池潤一	復命書
12月4日	関係機関への出張（事務打合せ）宇和島市	担当：菊池潤一	復命書
1月23日	関係機関への出張（事務打合せ）八幡浜市	担当：宮脇忠	復命書
1月24日	第2回協議会 ① 関係機関訪問等の復命 ②質疑応答 ③今後の予定 協議の結果大洲市出身の該当利用者3名から成年後見人申立の交渉を始めることを決した。総括責任者である池田主任指導員に、協議会代表として携わること決した。	7名（全員）	有
2月21日	後見人選定に係る手続きについて 大洲市社会福祉課担当者との面談	担当：池田隆三	復命書
3月9日	大洲市後見人制度申請に係る面談 大洲育成園相談室 大洲市社会福祉課（菊池氏）来園し、協議を行う。	2名（池田、谷山）	有

②マニュアル製本等作成委員会

【発足理由】

平成 28 年度に「マニュアル検討委員会（委員長：谷山洋二、他委員 9 名）」において、支援マニュアルの全面的な見直しを実施いたしました。支援マニュアルに関連し、医療・防災関係マニュアルを網羅した冊子の作成を実施して、全職員へ配布する目的で発足した。

昨年度事業報告内において、服薬ミス等の事故発生が多発し、評議員会での指摘が有る。①リスクマネジメントの観点、②業務の可視化、③大洲育成園の基本姿勢という 3 本柱を目的として、29 年度の冊子完成を目標に、委員会メンバー全員で務めた。

【委員構成】

役職名	氏 名	
施設長	東谷 弘子	管理者、オブザーバー
事務長	宮脇 忠	委員長（運営・記録）
主任指導員	池田 隆三	総括
係長	谷山 洋二	H28 マニュアル検討委員会委員長
係長（看護師）	岡崎 早苗	H29 保健給食委員会委員長
生活支援員	西川 勝典	H29 安全衛生委員会委員長
生活支援員	白石 亮	社会福祉士（有資格者、若年層代表）
総務係長	沖嶋 里志	製本業者選定、見積徴収、支払等の業務

実施日	協議内容	参加人員	記録の有無
8 月 4 日	<p>第 1 回委員会</p> <p>①はじめに 本委員会の経緯と目的について</p> <p>②議事 1) 各担当の役割について、2) 構成について</p> <p>③ その他 時期開催日について</p>	5 名	有
9 月 5 日	<p>第 2 回委員会</p> <p>①議事 各委員会の発表</p> <p>1) マニュアル検討委員会 1 項目</p> <p>2) 安全衛生委員会 5 項目</p> <p>3) 保健給食委員会 5 項目</p> <p>その他)「夜勤時における非常時の対応マニュアル」を掲載との要望が有。⇒ 従って、12 項目の掲載となる。</p> <p>表題から目次までの素案（池田主任指導員が作成）</p> <p>⇒ マニュアル原稿最終提出日；平成 29 年 12 月末</p> <p>⇒ 製本完成日；平成 30 年度末</p> <p>②構成について</p> <p>③ その他 マニュアル原稿提出時の注意点、次期開催日について</p>	7 名（全員）	有

	他		
10月31日	支援マニュアル作成に係る打合せ ⇒ 現行の非常時対応マニュアルを基本に、委員各自が「夜勤時における非常時の対応マニュアル」の案を作成してこれを検討して作成する。	3名	有
11月22日	支援マニュアル作成に係る打合せ ⇒ 夜勤時における非常時の対応マニュアル（素案）を作成。 ⇒ サービス向上委員会にて素案を以て、見直しを依頼する。標記委員会で取りまとめられて、施設長決裁をうけたものを冊子に掲載するものと定めることを決する。	3名	有
1月25日	第3回委員会 ② 議事 各種マニュアルの閲覧、構成についての諸注意 ②その他 次期開催日について 他	7名（全員）	有
2月19日	印刷原稿の回覧について（1回目）	7名（全員）	有
2月26日	印刷原稿の回覧について（2回目）	7名（全員）	有
3月2日	印刷原稿の回覧について（3回目）最終	7名（全員）	有

施設内職員研修一覧

実施日	研修内容	参加者	担当者
7月5日	「ICTを活用した就労支援」 講師：NPO 法人ぼうしすてむ 理事長 川崎壽洋 氏	25名	倫理委員会
7月18日	介護技術研修（実技） 「転倒予防の為の運動」 講師：NPO 法人 歩 健康運動士 路 智子 氏	21名	研修委員会
8月30日	感染対策研修会 講師：愛媛県八幡浜保健所健康増進課感染症対策係 地下俊江 氏・竹内潤子 氏	29名	保健給食委員会
9月6日	「自在園」 愛南町	2名	研修委員会
11月7日	老人介護施設現場実習：「長浜ひまわり」大洲市	2名	
11月9日	「つわぶき荘」 伊方町	2名	
9月6日	AED講習会 講師：フクダ電子四国販売株式会社 AED 営業部松山営業所課長 四国統括マネージャー 吉岡吉人 氏	23名	保健給食委員会
1月25日	接遇マナー研修 「関わり方とコミュニケーション」	35名	サービス改善委員会

	講師：愛媛県在宅介護研修センター出前講座 金田由美子氏		
2月25日	倫理委員会施設内研修（虐待防止について） 「障害者の権利擁護を考える」～私たちに求められること～ 講師：社会福祉法人共生福祉会いちごの里施設長 新田光寿 氏	36名	倫理委員会
2月26日	介護技術研修会 老人介護施設実習の報告会（各3施設）	16名	研修委員会
2月27日	介護技術研修（実技）福祉器具「介護リフト」体験 講師：(株)いうら社 河野氏 (株)ウェルパートナーズ 増田氏	21名	サービス改善委員会
3月7日	集団感染症及び食中毒防止対策マニュアル研修	全職員	保健給食委員会

施設外研修会等については、職員全員に復命書を回覧し内容を周知する。